



読書の窓 11月に読みたい本

おもちゃの本

日本語の「おもちゃ」という言葉の語源は「持遊（もちあそび）」で、「もちやそび」と訛り、これに丁寧語の「お」が添えられ、語尾が省略されて「おもちゃ」となったといわれています。おもちゃの歴史は古く、祈祷や呪術など信仰の対象として存在した人形類、また大人社会の行事・生活道具の模倣物などのかたちで登場してきます。人類の文明や文化の発展に応じて、いろいろと発明、工夫され、それぞれの時代の大人たちの知恵と愛情がこめられてきた「おもちゃ」、その楽しさ奥深さに触れてみませんか？

『月刊 たくさんのはしご
オルゴール誕生』
名村義人／文 福音館書店
オルゴールの歴史を遡ると、そのはじめはヨーロッパの時計塔に取り組みます。長い技術の歴史の中で変化してきたオルゴールの、緻密なしくみと美しい装飾が楽しめる一冊となっています。オルゴール技術者の様々な工夫に驚かされます。

『おもちゃ博物誌』
斎藤良輔／著 騒人社
おもちゃの伝播ルートとしてのシルクロード、雛人形史、日本の代表的な玩具店街「仲見世のおもちゃ店」が歩んできた道やキャラクター玩具に関することなど、古今東西の人形・玩具を学問的に取り上げた本です。人々の心に、無邪気な歓びと微笑みを与えてきたおもちゃの歴史を辿ってみませんか。

『図説からくり遊びの百科全書』
立川昭二・玉屋庄兵衛・種村季弘・青木国夫・高柳篤／著 河出書房新社
西欧の自動人形、日本のからくり人形から尾張の山車からくりまで、先人たちが生み出した驚異の技巧（からくり）世界をご覧ください。時計技術を活かした機械仕掛けの玩具の仕組みや歴史、遊びの世界で培われた様々な発明や創意工夫の心を多数のカラー図版や写真とともに紹介しています。

『人形の誘惑 招き猫からカーネル・サンダースまで』
井上章一／著 三省堂
店頭に配置されたその店のマスコット人形の置物は、私たち日本人にとっては馴染みのあるものです。しかし、これは「日本的な街頭広告」とされ海外では見られないものだということを知っていますか？客を呼び、福をもたらす人形たち。その意外な正体についてせまります。

大正時代の幻の童謡詩人 金子みすゞ

ACジャパンのCMで流れた詩『こだまでしょうか』を耳にした方も多いのではないでしょうか？自然の風景をやさしく見つめ、小さいもの、弱いものへの思いやりが込められた数々の作品。金子みすゞさんの詩を読むと、ほっと気持ちがなごみ、心が温かくなるような気がします。

- ・『明るいほうへ』金子みすゞ／作 金の星社
- ・『金子みすゞ全集1 美しい町』金子みすゞ／著 JULA出版局
- ・『空のかあさま』金子みすゞ／原作 テレビ山口／編 新日本教育図書
- ・『みんなと違って』三遊亭圓窓／作 高陵社書店
- ・『金子みすゞ 別冊太陽 日本のこころ』矢崎節夫／監修 平凡社

※『こだまでしょうか』は、『ほしとたんぽぽ』金子みすゞ／著 JULA出版局に載っています。



11月の特集

あなたはどんな秋



今月の特集は、『秋』をテーマに本を集めました

《 芸術の秋 》

『東京アート散歩』 交通新聞社

この本は、国際的規模の上野の国立博物館から、草の根レベルの小道具屋さん・古書屋さん・アートに囲まれたカフェなどが掲載されています。敷居が高い気がしていたアートが身近に感じる一冊です。



《 食欲の秋 》

『はらぺこおとりよせ便』

たかはしみき/著 集英社

おいしいものが食べたいけれど、お店が遠い、買に行く時間がない、外食できない…。そんな時、おとりよせが、魅力です。この本は、実際に作者が、おとりよせしてかわいいイラストでレポートしています。めざせ！家グルメ！



〈特集〉の
お勧め本
です！

《 スポーツの秋 》

『東京ウォーキングコース』 交通新聞社

日頃、なにかと運動不足の方、まずは、ウォーキングから始めてみませんか！東京タワーからスカイツリーを目指すコースや本郷から上野、浅草、隅田川へ下町探索ロードなどいわゆる散歩というよりは、ライトなスポーツとして歩いて気持ちがいい！と感じるコースが掲載されています。



《 読書の秋 》

『本に埋もれて暮らしたい』

桜庭一樹/著 東京創元社

どんなに忙しくたって、毎日書店に行き毎日必ず本を読む、そんな読書魔、作家桜庭一樹のドタバタの日々に癒しと活力を与えてくれた本の数々を紹介しています。やっぱり本が無ければ生きていゆけないと感じる一冊です。



《新刊本のご紹介》

足立区に関する本が入りました。ご予約もできます。



『日本一おいしい給食を目指している 東京・足立区の給食室』 「足立区の給食室」製作委員会/編者 アース・スターエンターテイメント

足立区内の小学生97%、中学生82%が、毎日楽しみにしている『足立区のおいしい給食』のレシピを家庭でも簡単に作れるようにアレンジしています。低カロリーでありながら、12栄養素のバランスが完璧！しかも1食あたりの材料費も300円以内と、健康にもお財布にもやさしい“魔法のレシピ”を大公開しています。家族みんなでおいしく健康に、楽しく味わえる本です。



『響（ひびき）』 足立区写真連盟/著 光村印刷

足立区写真連盟結成60周年記念誌です。前半部を写真集でまとめ、中ほどに主に足立区の60年間の歴史的写真と説明文が入り、後半部は簡単な写真用語集が掲載されています。北千住駅の旧北千住駅舎（S. 36）北千住駅舎（S. 58）北千住駅ビル（S. 61）など比較することで発展がよくわかります。地元に長年暮らしている方には、思わず懐かしくなる写真も掲載されています。